

花一会図書館便り

12・1月号（令和5年12月29日発行）

【TEL&FAX】

0136-57-6085

【MAIL】

hanaichie@voice.ocn.ne.jp

花一会ホームページ



Facebook



Instagram



X (旧Twitter)

第14回

「郷土探索への道 学校編③」

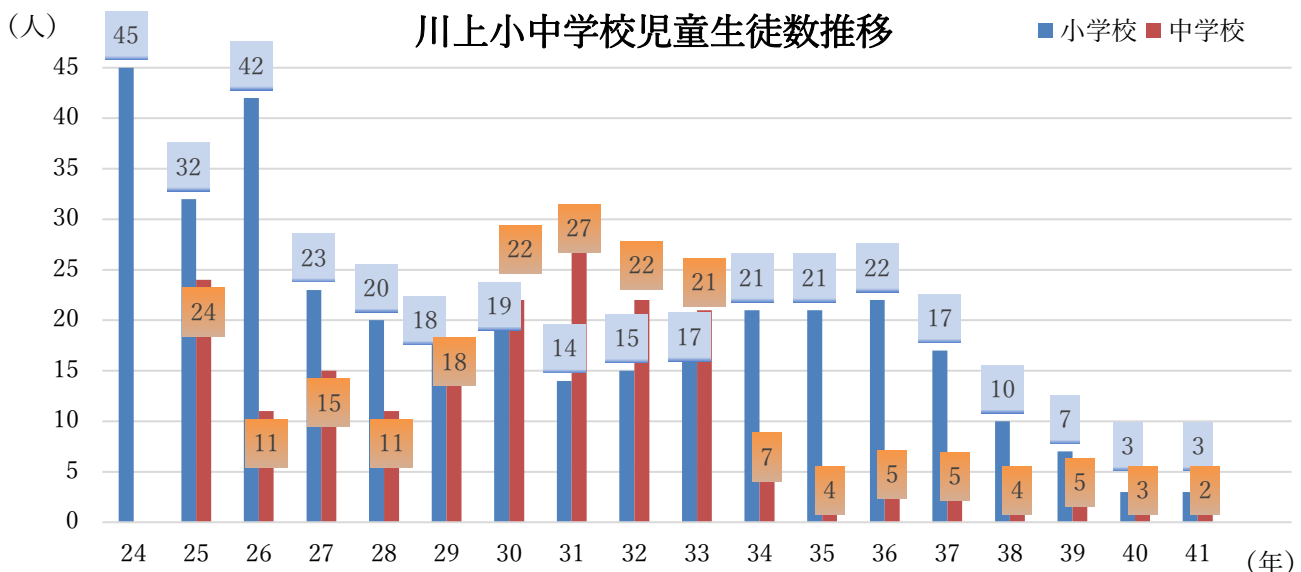
川上小中学校の歴史と黎明期 その1

川上小中学校は、昭和24（1949）年8月15日、川上小学校として在籍児童45名をもって開校し、昭和27（1952）年4月1日、中学校を併置し川上小中学校となり、昭和41（1966）年11月15日、17年間の歴史を閉じました。閉校時の児童数は3名、生徒数は2名でした。今号と次号は、川上小中学校の在りし日について辿ってみます。

川上小中学校の卒業生で、昭和33年から36年まで母校に新任教諭として赴任し教鞭をとられた島蔚（しま しげる）氏に寄稿と資料の提供をいただきました。（裏面へ続く）

川上小学校の歴史

昭和24年		小学校校舎及び校長住宅落成
	8月5日	落成式
	8月15日	開校（在籍児童数45名 1学級編成）
	9月1日	開校式
25年	9月30日	蘭越中学校川上特別教授所併置
26年	11月17日	用水濾過槽及び水道ポンプ設置
27年	4月1日	川上中学校認可、川上小中学校（小学校2学級、中学校1学級編成）となる。
32年	11月22日	辺地集会室兼屋内体育場落成
34年	11月20日	学校自家水力発電設備完成、校長住宅ブロック新築完成
41年	11月15日	川上小中学校閉校（在籍児童数3名、生徒数2名）



参考：『蘭越町史』（蘭越町）、『新蘭越町史』（蘭越町）

「蘭越町立小中学校の変遷、児童生徒数推移」（蘭越町教育委員会調べ昭和22年以降 各年5月1日現在）



現在の川上小中学校跡地は辺り一面が草木で覆われ、写真奥にはかつての校長住宅の一部が残っている。(R5.11.24 撮影/花一会)

私は小学2年の時に終戦、満州からの引上げ者だった。昭和24年8月川上小学校完成当時は既に6年生卒業年度でもあった。開墾の苦勞と最悪条件の衣食住に耐えながらも、親たちは常に子弟の教育を考えていた。明治35年生れの父は激務の疲れに有っても寸暇を惜しまず「勉強」させた。掛け算九九を初めソロバンを使っての加減乗除も…ソロバンの割り算「にいちてんさくのご」は今も懐かしい。父の思いつく漢字の書き取り・筆順等々たくさん教えてくれた。当時無学の私にとって滅茶苦茶画数の多い「親鸞」だけは忘れたことがない。どんなに疲れていても「南無阿弥陀仏」を呟きながら眠りにつく当時の父親を偲びながら…。87歳になる私は今、この難しかった漢字を指先で書きながら、親たちのこと、恩師のこと、開拓当時の仲間のことを思い続けている。



昭和33(1958)年 蘭越町内親善スキー大会 距離競技で3位入賞に大喜び



校舎全景 (校舎の裏山上方から撮影)

(左端) 校長住宅。その右端一部が職員室。
(中央) 教室。薪ストーブの土管煙突が見える。
(右端) 老朽化した集会所。学校の燃料庫として使用。

入口から廊下にかけては土間であり、校内は土足で、遊び方が激しくなると始終土ぼこりが舞い上がっていた。

次回、「川上小中学校の歴史と黎明期 その2」
お楽しみに!